

特 72

87

仲光

刊

301629-001-1

特72-87

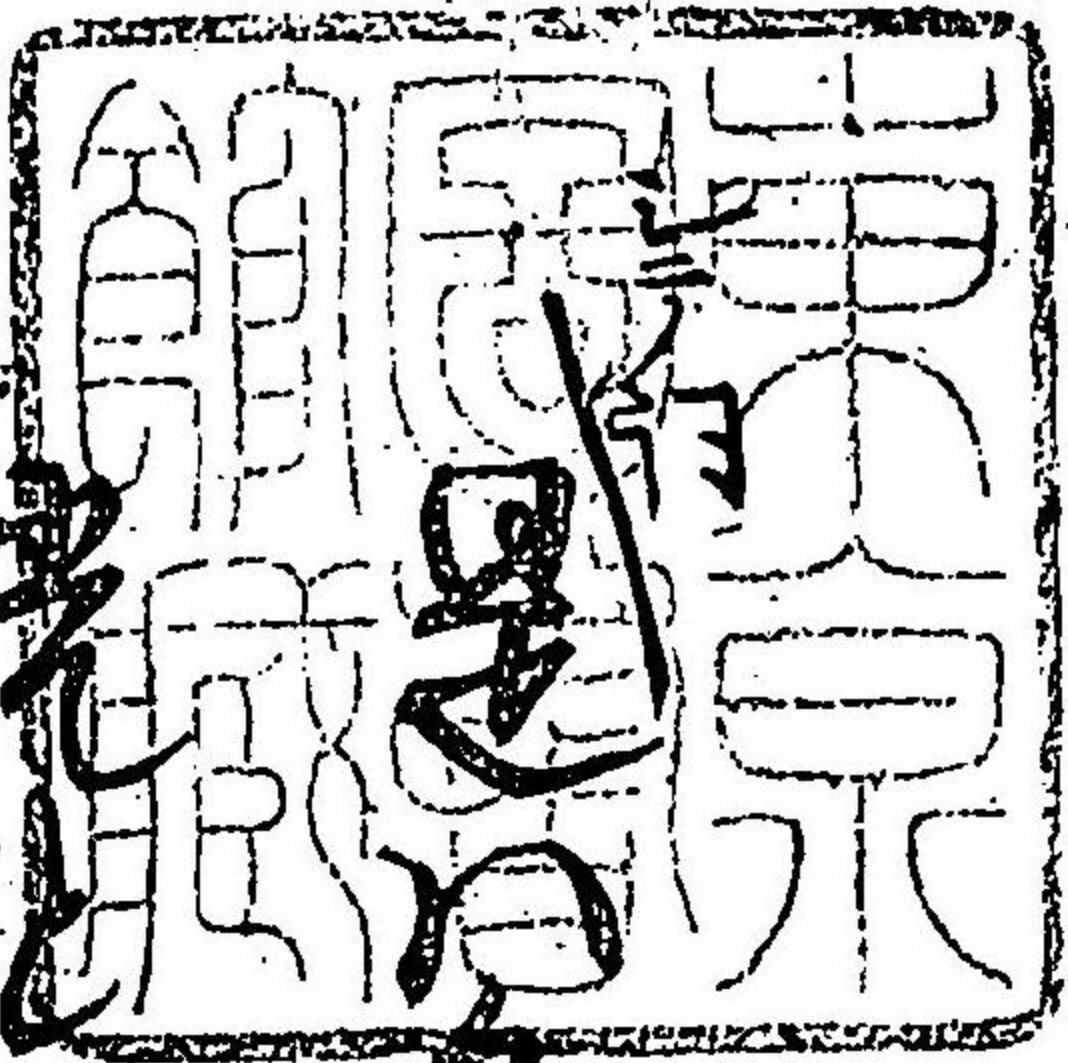
仲光

寺田 熊次郎 / 刊

M18.1

CEI-0002

仲光



是の多田の満仲子仕へた。者慮れ仲
申せしむ。物も御子美也御

特
87

前へあつては。延記守山もふ登せか

し。まはる。学文と。及は心よりれ

路り。明言武勇。新は借る。由

一。百。ま。改の外。若。は。積。り。に。く

果了。我よりは供十を也の由のみ
 て人頼よ。今日申出さるへまゝの良女は
 前と河供申出今は所入事なるは
 めりお申上は良女は前河供申
 ては備仲詞しうお良女久敷さるる時下
 出さるる学文能きよとせましく
 河經聽さると。榮擅れれよ金沈

の河經さるる讀浦と存つと。良女の前
 おそく一巻さる良女又はれ作
 につては。信らひのあは昔出平習ふ
 子とあはりりあはれとや河
 經れ一字所なぶよまはらりられ今
 更お波に調ふ計なり備仲詞そくめん
 ちうち子あれら。ちる良院階紙

は物濫しく社々へ生く河佩刀を流

りりへ流神可給受女と計て事りへ

たかたかたのあつる御神氏の社々

河見見あき仲老らよのたを終ふ

のたかたかたテ何のたの河流とて

皆い申同鋪張まらへくは月へ

は入る言借道ひ以の外の河流の

あてはは河と有懸るよとらぬありて

か福道とらぬまらぬとわく何と

短のたしまの落へ申さりやと尋く

らした申上は只今の奪りぬは懸ふ

て葉も遂懸はうてふ美女あふ仲

光只今自然外へ流る仲老ら

割美女あふちりちり美女とばへまら

是より思ひつゝ孫小次郎新物新小等
あり。とて自ら首所及父はの法目
小掛シテ人定々健氣柳子新作
の物式。可給行と後名た。一まの落
し申請する。さて。か行と申を
。父は父の事もなると申う。あり
矣止む。叔行と仕り。か上。定々上。

何上の報ひ有ける。浮世上部傳上入上
阿させ太子の動し。もたら。然上から
ま上ひも。是上は皆宿縁うく上のち上き
引上き去めて。世を上。現世に上移上く
報上ひ人の對あり。自ら上き
ま上らる。以上て思上ひ。恨上きあり。浮世上れ
中上と思上ふ。た上る。か上浮上子上を

諸君の御時移るも首の
 仲光也。言れ紫も後色すむ
 そ世うまきれ 長葉は年
テテ

福あくる方。御命に替りぬるま
 海きのと措うぬ命もことよらて
 ぶふぬ口サ一六依 何うお又上
幸壽詞

此とて世を紫くそ。幸壽の母に
 早自り首紙取。笑むは前と

何と申と。笑むは前のは命に
 何と申と。笑むは前のは命に
テテ

何と申と。笑むは前のは命に
 何と申と。笑むは前のは命に

何と申と。笑むは前のは命に
 何と申と。笑むは前のは命に

かし思ふらん中へ小借の段へ
 借入りの為り今付陸れ御命取留
 申上るる弓矢の家の名を并記
 申上るる方知れ申すたきを致すの
 或はおま子へ申す君と反りて手に
 かけんと心よりやまらばん手
 小右の致子をと思ひ切つ親心の書

打に現ある致子致着と申す
 申上るる方知れ申すたきを致すの
 或はおま子へ申す君と反りて手に

又美由所前出供申行方へ
 立退人申上るる方知れ申すたきを致すの
 申上るる方知れ申すたきを致すの

申上るる方知れ申すたきを致すの
 申上るる方知れ申すたきを致すの

是れありてはさうらひおぼあはらうに仲光

おくきなるはかきとて家来の忠言禁子

てふ結伴くみ仲光おと存の如く物して

美女あつて子と云老あうくふら

してはゆう子の幸壽と一子と家じ

ありきひく時出く事もはか

おしては美女お前しては家じゆあ

みなえ結切言に夫ひては同節の仲光

ふとてはあまはらりりく積智りやと思ふ

の流くは云はれを思ふあつては美女死を

とて子のいへん年朝くお二人の者お

別へて思ふよと且よよまじ習ひ命

ハ流り流るぬそと仲光とてはうふす

うと流るそよとけ青らや親子の道お

死ね者あくは移ふ仲光に申付来ひてふ

しるす子み付まの心とさうめて等し百れ

少く美女此前とまひ申をどの心役察り

成りに仲光の思ふさういふて三世の

主君と手に舞甲へてと思ふか子の

幸壽う首と切髪女と申ては目お掛けてふ

されは然さふ替て思ふ程の美女此前の御

不審免しありまもと愛しく引く満

伸の心前ふくとまらされ満仲河に社務来練

成美女成まら幸壽と叙ふ心徳たふりや

自害たぬら早白やしく徳の子とて一妻て

幸壽う心子と思へる美女此助きてまひ

流へてま九海流し申され上に徳心もよやく

中早飲堂をわたりヤラ仲光余りの娘し

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

明治十八年一月廿八日翻刻御届 同年二月廿日出版 定價金 六錢
 出版人 京都府平民 寺田熊治郎
 下京区第五組袓屋町錦小路上梅屋町三番戸

